一 般 質 問 通 告 書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和　8年　8月　6日

山北町議会議長　　瀬戸　恵津子　　殿

受付番号	第３号	質問議員	３番	瀬戸　伸二　印
件　名	「消滅可能性自治体」解消へ			

要　　旨

山北町が「消滅可能性自治体」とされ12年となる。この12年間も人口が減少し、現在８千人台に突入してしまった。

「消滅可能性自治体」の大きな要素は、2050年までに20歳から39歳までの女性人口の減少率が50%を超えると推計される自治体とされている。あらゆる政策を網羅し、この課題に向き合うべきと考え質問する。

１．町長は、「消滅可能性自治体」についてどの様に捉えているか。また、今後の具体的な取組みは。

２．新東名開通後、（仮称）山北スマートＩＣが新しい町の玄関口となる。交流人口、移住・定住を考えるとスマートＩＣ周辺の土地利用計画が重要である。土地利用のビジョンを示されたい。

３．この16年で、大きく変わってしまったのが山北駅周辺である。山北駅周辺の活性化に向けた取り組みは。

以上